

Title	木活字本『西洋事情』の発見
Sub Title	
Author	河北, 展生(Kawakita, Nobuo)
Publisher	三田史学会
Publication year	1961
Jtitle	史学 Vol.33, No.2 (1961. 2) ,p.36(158)- 36(158)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	余白録
Genre	Journal Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19610200-0036">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19610200-0036</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 木活字本『西洋事情』の發見

河北 展 生

『西洋事情』が幕末・明治初年に非常な賣行を示したため、幾種かの異版或は偽本が出版されたのであるが、從來知られてゐるそれら異版および偽本は、すべて木版印刷のもので、前者は刊記、卷末など多少眞版と異なる點はあるが、本文はほぼ眞版と同じである。これに對し偽本は、本文の内容に多少の増訂が加えられたり、或は題名のみで内容の全く異なるものである。

今日まで知られてゐる異版は、(一)眞版とほとんど相異點なく第三卷末の印にやゝ肉太の感ある慶應二年初冬の刊記ある小型薄葉刷のもので、福澤自身薄葉刷を作つたことを明らかにしてゐる點からも、福澤の作つた異版と見られるもの。(二)慶應四年戊辰初夏の刊記があり、外見上眞版に類似するが、見返し、第三卷末に福澤氏藏梓等の記載の無い半紙判本。(三)前者と全く同じで、小型本のもの。(四)前者を薄葉刷にしたものの四種で、いずれも木版印刷のものであるが、(一)(二)(三)は共に偽版と考へて差支ないものと思はれる。

今回發見した木活字本『西洋事情』は、慶應義塾幼稚舎の吉田小五郎氏より、中目黒の書店に活字本の西洋事情がある旨の

教示をうけたので、これは明治中葉頃にも、門下生の誰かゞ複製したといつたものではあるまいか等と想像していたのであるが、差出された書物は、眞版と同大の半紙判の三冊本ではあるが、題箋の文字も異なり、表紙の紙色も從來全く見なかつた黄色のもので、ひらいて一驚したのは、全く予想しなかつた木活字本で、見返しも、發兌所名を缺き、刊記は、丁卯夏活刷とある。更に口繪も眞版と類似しているが、相當異つてゐる。最も異なる點は、眞版及び從來の異版すべてが蒸汽濟人電氣傳信の文字が、立體的に記されているのに、本書は單に肉太に書かれてゐるに過ぎないという點である。

本文は眞版とほぼ同じで、僅かに漢字を假名書にしたり、あるいはその逆であつたりする程度である。ただ「小引」末の年記が、眞版が「慶應二年丙寅七月、福澤諭吉誌」とあるのが、本書では單に「丙寅七月」とのみあり、意識的に福澤の名を消してゐる點、及び第三卷末尾に福澤藏梓印や發兌書名廣告等を缺いてゐる點は、これまで知られてゐた異版(一)、(二)、(三)と同類型のもので、より偽本の疑いを強くするものである。

木活字印刷は組むのに相當の手數を要し、且印刷部數も餘り多くを望めないと思はれるのに、かゝるものが出版されたことは極めて興味あることであるが、他の異版同様發兌所等を全く知ることが出来ないのは誠に残念である。